

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (令和元年度)</p>	<p>情報ネットワーク工学 科の定員超過の是正に 努めること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>平成31年度入学者判定会議 において、過去の入学試験 における志願者、合格者数 の歩留率等のもとに合格判 定を行った。 情報ネットワーク工学科で は、31年度入試において は、模擬試験等の結果から 全体的に本学を含め、併願 大学の志願者が増える予想 であったこと他、本学の 併願大学の大規模大学で昨 年度100名近くの追加合格を 出されていた事から、本年 度の入試においては、歩留 率が低いと予想していた。 本年度は、志願者数が昨年 度より1.26倍と増えたが、 合格者数は昨年並みとした が、歩留率が高く、入学者 が増える結果となった。 他大学の状況や本学の志願 者や過去の歩留率等を考慮 しながら合格者を出してい るが、年度によって予測が 難しい状況であった。入学 した学生には、教育の面で 支障がないように対応して いく。</p> <p>履行中</p>

<p>設置計画履行状況調査時 (令和2年度)</p>	<p>情報ネットワーク工学科の定員超過の是正に努めること。</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>情報ネットワーク工学科は、令和2年度入試において、志願者が前年度より1.17倍の志願者増であったが入試制度の最終年度でもあり、併願者等も考慮し、入学者予想をし、一般入試と大学センター利用入試において、合格者を前年度より約30%減の合格者をだした。手続者は、前年度より26%減であったが、指定校推薦志願者増により最終的には、手続者増となった。次年度は、他大学の状況や歩留率等を考慮しながら合格者を出していくが、年度により予測が難しい。入学した学生には、教育の面で支障のないように対応する。</p>	<p>履行中</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (令和3年度)</p>	<p>情報ネットワーク工学科の定員超過の是正に努めること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>令和2年度入試は、入試改革の前年度ということ、また、情報ネットワーク工学科は近年、情報分野に人気が高まっている等全体的にも受験生一人あたりの併願が増えており、志願者数も増加傾向である。そのような状況から、本学の歩留り率は例年より高くないであろうとの予測を基に合格者数を決定した。しかし、予想以上の歩留り率の結果、入学定員の1.46倍となってしまった。令和3年度入試においては、前年度入試の歩留り率および全体的な動向を踏まえ、合格者数を決定したため、入学定員超過率が1.26倍へと改善に繋がっている。次年度以降も全体的な入試状況を見据えながら定員超過にならないように努めていきたいと考えている。</p>	<p>履行中</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。